

はばたく中小企業・小規模事業者300社（はばたく300社）について

- はばたく300社は、社会的承認、信用・知名度向上、人材確保を図り、中小・小規模事業者の活性化を目的に、2014年度から中小企業庁が実施する表彰制度。
- 2022年度は表彰式を行わず制度見直しを実施。今後は表彰式を隔年開催としつつPR支援の充実を目指すとともに、選定分野と審査基準を見直した。

表彰・選定作業について

- ◆ 関係機関からの推薦を受け、書面審査を経て有識者による選定委員会にて分野ごとに選定。
- ◆ 2023年度選定分野 ①事業再構築・生産性向上、②海外展開、③GX/DX、④人への投資・環境整備

関係機関：中小機構、日本商工会議所、日本政策金融公庫、全国中小企業団体中央会、全国商工会連合会、商工中金、JETRO、産総研、全国信用組合中央協会、全国信用金庫協会、国際協力機構、国際協力銀行、在外大使館、海外現地日本人商工会議所、地方経産局

2023年度の選定・表彰スケジュール（予定）

令和5年8月～10月
11月～12月
1月上旬頃
令和6年3月

関係団体に推薦依頼
有識者選定委員会・書面審査
内定連絡
表彰式（経産省内で300社を表彰することを想定）

推薦分野と審査基準案①

分野	①事業再構築・生産性向上		②海外展開	③GX・DX	
	事業再構築	生産性向上		GX	DX
重点評価 ※①～④ いずれかの 分野を選択 (50点)	<p>○自社に有望な事業テーマ、自社リソースを活用した事業再構築に取り組む事業者</p> <p>(事業例) ・事業の見直しや、新分野展開、業種や業態の転換、事業再編などに積極的に取り組んでいる。</p> <p>・事業再構築に取り組むことにより、複数事業による収益の確保や事業内容の多様化、競合他社との差別化、既存分野から成長分野への移行など、企業の成長につなげている。</p> <p>・積極的なM&A及びPMI (Post Merger Integration) により、規模の拡大や異分野とのシナジーを得ることによる強みの確保など、企業の成長を目指している。</p>	<p>○自社の競争力強化、商圏の拡大、ブランド力の向上等の付加価値を向上させる取組を行っている事業者</p> <p>○我が国のイノベーションを支える取組を行っている。</p> <p>(事業例) ・競合他社との差別化を積極的にを行い、独自の価値を創出している</p> <p>・生産プロセス・サービス提供の改善を図る取組みを行っている (GX,DX等他社と関係するものを除く)</p> <p>・地域資源を活かした取組、インバウンド需要の取り込み等、地域経済活性化に貢献しながら成長している。</p>	<p>○自社の海外展開のための新たな商品の開発・改良・ブランディング、販路開拓等の取組を行っている事業者</p> <p>(事業例) ・海外進出、生産委託、輸出強化等に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・海外市場に進出することにより企業の成長につなげている。</p> <p>・自社のビジネスや技術を通じて、開発途上国の課題解決に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・海外市場と国内市場を同一のものとしてとらえ、製品やサービス等の内容を国内向けに特化させないなど、グローバルで通用する事業やビジネスを志向している。</p>	<p>○グリーントランスフォーメーション (GX)の実現に向けて、省エネ、脱炭素等に取り組む事業者</p> <p>(事業例) ・CO₂排出量等の把握やCO₂削減計画の策定を積極的に行っている。</p> <p>・省エネや再生可能エネルギーの利用に積極的に取り組んでいる。</p> <p>・自社またはサプライチェーン全体でカーボンニュートラルに取り組んでいる。</p> <p>・GXをビジネス機会ととらえ、業態転換や新規事業創出等に取り組むなど企業としての成長を目指している。</p>	<p>○デジタルトランスフォーメーション (DX)の実現に向けて、データやデジタル技術を使って、新たな価値創出、ビジネスモデルや企業文化等の変革に取り組む事業者</p> <p>(事業例) ・デジタルの技術の導入を積極的に行っている。</p> <p>・身近な業務のデジタル化や、既存データや身近なデータの収集・活用を進めている。</p> <p>・DXによる業務・事業の変革に向けた取り組みを積極的に進めている。</p> <p>・サプライチェーン全体に変革を展開できるように積極的に取り組んでいる。</p>
基礎評価 (20点)	<p>○技術・製品の革新性・優位性／サービス・商品の革新性・優位性 ※「ものづくり」か「サービス」を選択</p> <p>・高度な製造技術・製品を持っている。</p> <p>・製造技術・製品の品質、信頼性、性能、機能が高い国際競争力を有している。</p> <p>・競合他社と比べ、ビジネスモデルの革新性・優位性が認められる。</p>				
基礎評価 (必須)	<p>・各推薦団体において、財務的健全性などから組織として堅調であることが確認されていること。</p> <p>・関係法令等の理解と遵守につとめ、模範となる事業活動を行っていること。</p>				

※審査基準や配点は推薦依頼時点の案です。今後開催する有識者委員会を経て決定する予定です。

推薦分野と審査基準案②

分野	④人への投資・環境整備	
	リスキング、人材育成・活用	事業承継、女性活躍・多様性確保、賃上げ
重点評価 ※①～④ いずれかの分野を選択 (50点)	<p>○目指す目標、達成するための組織像、実現するための行動基準を持ち、自社の人材育成、活用を行う事業者</p> <p>(事業例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場環境の変化に対応するための新たな知識・スキルを学べる場や実践の場を提供している。 ・卓越した技能の維持・発展に取り組むため、研修制度や資格取得支援制度を充実させるなど、従業員の能力開発の取組を行っている。 ・社内外の専門的な人材を積極的に活用している。 	<p>○事業承継や多様な人材の確保など働き環境の整備に取り組む事業者</p> <p>(事業例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な事業承継のための取組を行っている。 ・若者、女性、シニア、外国人、障害者等、多様な人材の確保に積極的に取り組んでいる。子育て支援、就労条件等、雇用環境の改善に積極的に取り組んでいる。 ・自社の成長に応じて賃上げの取組を行っている。
基礎評価 (20点)	<p>○技術・製品の革新性・優位性／サービス・商品の革新性・優位性</p> <p>※「ものづくり」が「サービス」を選択</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な製造技術・製品を持っている。 ・製造技術・製品の品質、信頼性、性能、機能が低い国際競争力を有している。 ・競合他社と比べ、ビジネスモデルの革新性・優位性が認められる。 	
基礎評価 (必須)	<ul style="list-style-type: none"> ・各推薦団体において、財務的健全性などから組織として堅調であることが確認されていること。 ・関係法令等の理解と遵守につとめ、模範となる事業活動を行っていること。 	

分野	①事業再構築・生産性向上 ②海外展開 ③GX・DX ④人への投資・環境整備
	加点評価 (30点)